

# 行政せったん

## 支部長あいさつ

支部長 森田 幸生



去る6月11日に開催されました第44回定時総会では全ての議案についてご承認をいただきありがとうございました。新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大を受けて緊急事態宣言が発令されたこと等から、例年より1か月半程遅れて懇親会を行わない異例の形で定時総会を開催しました。本年度事業については、新型コロナウイルス感染の拡大及びそれに関連した社会情勢を見ながら、できる限り計画通り実施する方向で進めて参りますが、その状況によっては一部または全てを中止せざるを得ない場合があることをご了承くださいますようお願い申し上げます。

昨年の「行政せったん」31号で「大きく早く変化する環境のなかで支部に求められていることは『変化への対応』ではないか」と述べてきました。

その試みとして、本年度開催予定の研修会では、今後加速するであろう行政手続きのデジタル化に向けて、行政手続き等に係るIT（情報技術）に関するテーマを取り上げ、インターネットを利用して開催することを計画しています。この研修会への参加には電子メールアドレスが必要ですので、まだ電子メールアドレスをご提供いただいていない方は森田（morita\_gyoseishoshi@ybb.ne.jp）まで空メールを送信してください。

また、本年度は2年に一度の役員改選を控えています。支部会員の皆さまには今後の支部運営を含め多大なご理解とご協力をお願いすることになるかと思いますが、摂丹支部の永続的繁栄と支部会員の社会的・経済的地位向上また行政書士制度の普及浸透のため、引き続き更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 新入会員紹介

<p><b>棚橋健司</b> 昨年8月からお世話になっております、三田で活動しております、何もわからない状況です、皆様のご指導よろしくお願い致します。三田市けやき台3丁目57-10 TEL/FAX 079-565-0152</p> 	<p><b>森本浩介</b> 諸先輩を目標に日々研鑽に励んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。丹波篠山市長安寺288番地 TEL/FAX 050-7116-4905/079-596-0163</p> 
<p><b>西田良輝</b> 農地や相続の相談を受け付けております。よろしくお願い致します。三田市すずかけ台4-7-1-303 TEL 090-9708-2270</p> 	<p><b>北村欣夫</b> 昨年11月に登録致しました北村です。どうぞよろしくお願い致します。丹波篠山市池上388-7 TEL/FAX 079-506-6680/079-554-2891</p> 
<p><b>松浦義仁</b> 3月1日登録です。知識の習得に努め、日々研鑽を積んでいきますのでよろしくお願い致します。三田市南が丘2丁目1-14 シャルム南が丘202号 TEL.FAX 079-509-0329</p> 	<p><b>水野剛志</b> この度、摂丹支部に入会させて頂きました。宜しくお願い致します。三田市三田町3番3号 TEL 079-562-2273/FAX 079-562-6191</p> 



兵庫県行政書士会摂丹支部

# 支部研修旅行レポート

足立 康裕

(参加について)

令和元年10月25日(金)から27日(日)にかけ、大韓民国の首都、ソウル特別市への支部研修旅行に参加させていただきました。

参加者は、私を含め3名でした。

当時は、例年になく日韓関係の緊張状態が高まり私の周囲では訪韓を危ぶむ声がありましたが、支部幹事の先生方や旅行代理店からも延期や中止の連絡もなく、不安な中ではありましたが有効期限切れのパスポートの再交付申請等準備をすすめておりました。

振り返りますと、今回の支部旅行を企画立案いただいた幹事の先生方におかれましては、大変ご苦労ご心配をおかけしたと推察いたします。まずこの紙面をお借りいたしまして無事帰国いたしましたことをご報告いたします。

(出発当日)

全日程は、好天に恵まれました。

出発当日は、午前7時30分関西空港集合。自宅は支部最北端丹波市にあるため前日より関西周辺か大阪市内に宿泊も検討したのですが、当時はインバウンドの最盛期でありホテルの宿泊もままならず自宅からの出発となりました。

(いまではウソみたいな話ですが・・・)

何とか集合時間に間に合い、空港内の案内板や事前資料片手に諸手続きを済ませ難く搭乗ゲートに到着しました。

見渡すと韓流文化の影響でしょうか、週末のフライトも相まってビジネスパーソンはほとんど見当たらず観光目的と思われる方々が大半で、搭乗する7から8割程度女性が占めておりました。(女子高の修学旅行の団体も同便でした。)

当時、ソウル便の数自体が減便されていたのかもしれませんが、搭乗者には全く日韓問題の緊張は感じられませんでした。

(麻浦(マッポ)区役所見学)

2時間弱で仁川(インチョン)空港に到着しました。

ガイドの方と合流し、そのまま麻浦区役所へ向いました。

移動は3日間ともミニバンタイプの乗用車で週末の混雑するソウル市内もストレスなく行動できました。

残念ながら区役所では当局の関係者とお会いできませんでしたが、ガイドの方から説明をいただきながら、地上12階から(地下2階)の市役所の建物を順に1階までおりました。

キーワードは、「ワンストップ」と「IT」です。もちろん「お国柄や日本とは人口及び国土の面積の違い」もあります。また国内において地方と首都ソウルとはまた異なるでしょうが、日本の国、都道府県、市町村や各省庁の縦割りセクショナリズムより国民の行政手続きの負担は少ない印象を受けました。

例えば、同市役所にはわが国の陸運局やパスポートセンターに該当する窓口が設置されておりました。

また、オンライン申請等のシステムは世界でもトップクラス(アメリカに次ぎ第2位とか)のようです。

(1日目その他 順不同)

- ・景福宮(キョンボックン)
- ・昌徳宮(チャンドックン)(世界遺産)
- ・宗廟(チョンミョ)(世界遺産)
- ・Nソウルタワー
- ・(宿泊)ロッテホテル(2泊とも)

### (ソウルのデモ)

当時日本で流れるソウルの映像といえばデモ。青瓦台(大統領官邸)周辺では、実際に行われておりました。(当時、法務大臣の汚職、辞任問題)

しかし、デモのイメージはわが国と異なるようです。週末になると全国各地から集まり、歩行者天国化した道路にブルーシートを敷き大半の参加者はお祭りの感覚だそうです。

また、曜日にわけて、各種デモが市内各地で開催されます。例えば基地問題ではアメリカ大使館前、毎週水曜日は日本大使館前で慰安婦及び徴用工問題のデモが実施されているようです。

### (青瓦台(チョンワデ)大統領官邸見学)

2 日目は、午前中ソウル郊外にあります世界遺産の水原華城(スウォンファソン)を見学し、午後は再びソウル市内に戻り青瓦台の大統領官邸(以下「官邸」)へ向かいました。

事前予約制で、出国前から身分証明(パスポート)の確認が必要でした。

官邸から約 1 km離れた見学者専用バスターミナルに集合し、ここでガイドの方とは一時お別れして見学者専用のバスにて官邸へ向かいます。車内では、終始官邸内での注意事項が語られ(全く理解不能)到着後も、空港同様の身分確認、ボディチェック、持ち物検査があり約 100 人単位のグループ行動となりました。グループ内の外国人は私たちのみ、韓国の方にとって観光スポットの一つのようで皆さん和やかでしたが、観覧場所及び観覧コースは分単位で決まっているようで、案内者を含めグループの周りを私服警官らしき男女十数名が取り囲み、笑顔もなく無線で連絡を取りながら、次々と移動しては解説の繰り返しで言葉もわからず周りの反応を見ながらの見学でした。(係員の私たちへの視線は明らかに他とは異なるものでした)

また、撮影も場所とカメラアングル等も決められており、場合によって違反するとカメラ画像の確認と消去が求められました。

### (ソウルの酒場)

2 日目の全日程終了後、ガイドの方に前もってリクエストしていた「日本人を見かけない。日本語も通じない酒場(韓国風居酒屋)」を紹介いただき反省会を行いました。(ガイドさんは帰社)

見学(観光ツアー)ですので、会話も食事も日本人にストレスになきよう工夫されており、「外国に来た!」という実感することが少ないです。

よって、少しでも実際の韓国の食文化や韓国人の人柄を体験するため行ってきました。

とにかく会話が成立しません。品名もハングル文字ばかり、所持金とメニューの金額をにらめっこ。あとは、お隣のお客さんが食べているものを指さしながら注文しておりました。

すると、さすがに店員も呆れたのか、店の裏からちょっと怖そうなお兄さんを呼んできました。

一瞬焦りましたが、お兄さんは日本語が理解できましたので、あとは店員さんとも仲良くなり楽しい反省会となりました。

(偶然でしょうか、日本語が理解できる人は、結構いらっしゃるようです。助かった!)

(あと、ポンテギ(カイコの蛹で茹でたもの)には 3 名とも箸が進みませんでした。)

### (2 日目その他 順不同)

- ・水原華城(スウォンファソン)(世界遺産)
- ・民俗村
- ・南大門(ナンデムン)
- ・明洞(ミョンドン)
- ・ロッテ免税店



(3日目その他 順不同)

- 仁寺洞(インサドン)
- 三清洞(サムチョンドン)
- 光化門広場(クァンファムンクァンジャン)
- 北村(プッチョン)

(終わりに)

他にも上記のような観光スポットを多数見学させていただき、有意義なものとなりました。

いつも終わった後に実感することなのですが、

一つ目は、「自分の目で確かめること！」

日本に伝えられる韓国の情報と、現地での体験とはあまりにもかけ離れたものでした。(いいところしか見せてもらえなかったかもしれませんが、また国家間となると事情も異なるのでしょう)

あらためて自分が直接体験することの大切さを再認識いたしました。

二つ目は「あとで何が起こるか分からない。迷ったら、行け！」

実を申しますと、日程的にも、費用面でも、また事前の日韓関係の報道等締め切りまで参加に迷いがありました。

ただ「こんな時期こそ、韓国を見てみたい！」「今、行っとかないと次行けるのはいつになるのか！」と意を決し参加させていただいた次第です。(少々大げさですが)

そのあと、新型コロナウイルス禍がやってきました。

現在は、次の支部研修旅行のため、せつせと参加費を積立てしております。

また、次は多くの先生方と一緒にできればと業務に励んでおります。

ご精読ありがとうございました。

### 編集後記

本年は、コロナ禍で大変な状況となりました。支部総会懇親会も中止となり、寂しい限りです。支部役員会もリモート会議となりました。「行政せったん」は電子化となり兵庫県行政書士会ホームページの撰丹支部だよりに掲載することとなりました。シンプルでスマートに編集しました。時代の変化を少しずつ感じる今日この頃です。コロナを吹き飛ばし、行政書士業務に邁進してまいります。

### 行政せったん

発行 兵庫県行政書士会撰丹支部  
支部長 森田幸生  
〒669-1514 三田市 川除 353 -1 創水ビル 2F  
電話 079 -553-0766

編集 撰丹支部広報編集委員会  
委員長 中村 毅  
委員 細山慶太 細見浩夫